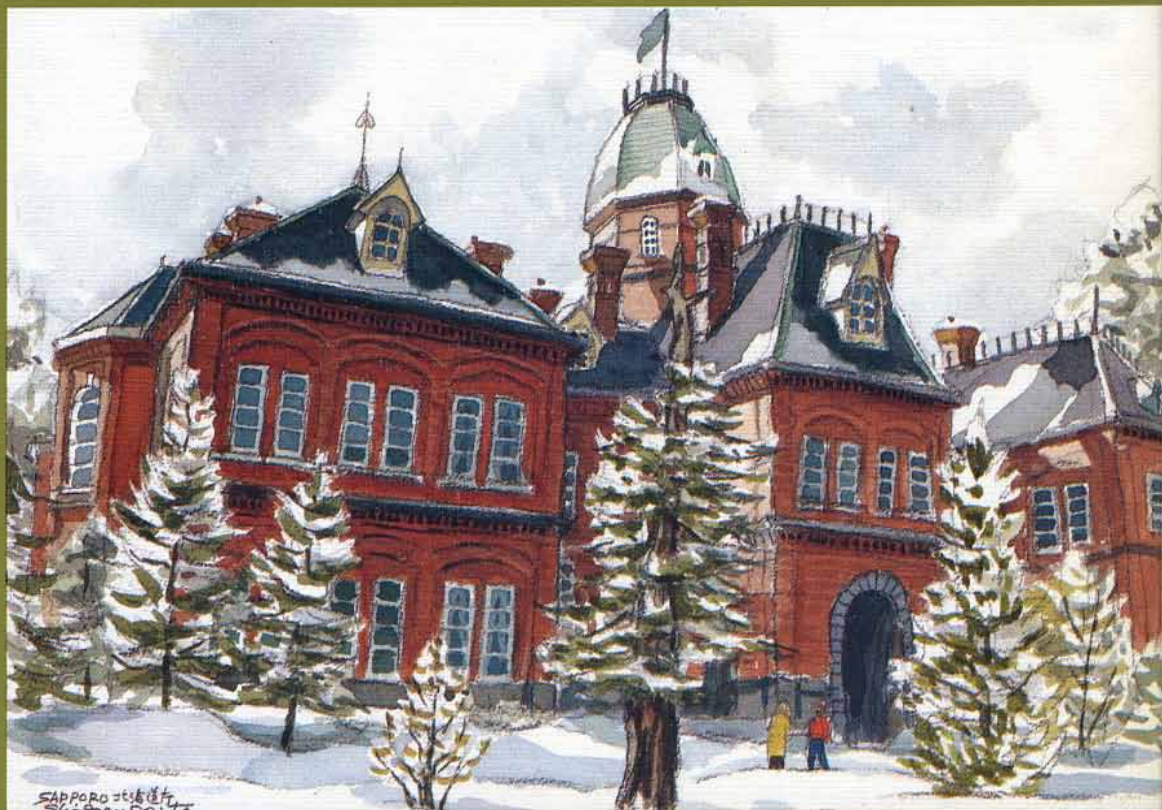


雪の詩 友誼の詩



社団法人 日本作詩家協会年刊詩謡集

1990年版

きょうの詩 あしたの詩

社団法人日本作詩家協会年刊詩謡集

1990年版

序文

会長 石本美由起

作詩家協会の「年刊詩謡集」です。

これ位、たのしみなのはありません。

これは、故、サトウハチロー会長が、曾つて、詩謡集の序文に書かれた書き出しの言葉である。

あれほど、参加することに、喜びを感じていた時代を思うと、この頃の考え方には、多少、変化が起っているのではないかと、案じられる。

詩謡集は、自発的に参加することであり、改めて参加を呼びかける必要はないと言う人もいるが、年に一度のことであり、一人でも多くの人に、参加して頂くことが、発刊の心と、その意義を尊重することになる。

作品の発表によって、お互の存在を確認しあい、友情を暖めることも大切であろう。

詩謡集に参加することは、自己を強調する、一つのアクションでもある。積極的であることが、飛躍への第一歩であることを……。

私たちは、常に自覚すべきだと思う。

目次

〈氏名 五十音順〉

序	文	石本	美由起	一	
青	森	あ	い	たかし	三〇
秋から冬へ	愛	愛	行子	三	
獅子座の女	愛	愛	あい	三	
新地恋情	葵	葵	昭人	三	
銀座の雀	青	青	三郎	三〇	
恋未練	秋	秋	ひろし	三五	
女のちぎり絵	秋	秋	さとし	三六	
ブンさん	秋	秋	泰治	三七	
いちりんの花	秋	秋	哲三	三六	
海峽夢しぐれ	飛鳥井	飛鳥井	芳朗	三六	
三陸女房	アベ・イチロー	アベ・イチロー		三〇	
博多は霧	鮎川	鮎川	公正	三三	
再会	荒川	荒川	利夫	三三	
心の奥で瞳の奥で	荒木	荒木	とよひさ	三三	
高座の鬼	淡路	淡路	しのぶ	三三	
吉野繚乱	安藤	安藤	潤	三五	
あした天気になあれ	飯田	飯田	敏雄	三六	

哀終哀歌	飯田悠介	三
風酒場	飯塚義美	三
色好み	生田恵子	三
曼陀羅華	池浦利彦	三
古里景色	池田充男	三
ナザレの浜辺で	いけやかつとし	三
祖国の母	生駒かつゆき	三
GOGOゴルビーゴルバチョフGO	石井鐘三郎	三
山鹿水	石井文生	三
京鹿子	石川泰久	三
男のロマン	石黒忠	三
女の華道	石田六郎	三
過去は男の勲章さ	石本美由起	三
運命峠	泉淳三	三
山のこもりうた	井田誠一	三
森影の家	板倉文子	三
鎌倉	いちはじめ	三
思い出さんが呼んでいる	市川武志	三
勇払原野	伊藤公一	三
人生は	伊藤悟	三
田圃でホーイ	いとうもりお	三
逆さネオン	糸山たけし	三
別れの街角	稲葉爽秋	三
裏町恋しぐれ	井上融	三

道	楽	橋	伊野上	のぼる	六
ひばり	夢	唄	井村	幸男	三
愛の色	つや		伊予	圭相	三
巻狩り	情話		岩瀬	ひろし	六
恋待ち	醉芙蓉		岩田	小筆	六
尾瀬の	三郎		岩田	道之輔	六
嫁ぐ	日に			しゆく	七
海	峡	宿		いわま	六
砂に	落ちた	泪		上野	六
				碓氷	六
北酒場	の女			内田	七
瀬戸内	旅情			宇都木	七
夢咲き	小町			宇都宮	三
青春	マラソン			浦田	三
俺は	お前に	きめていた		海老澤	七
萩	小	花		大崎	七
真実	一	路		大澤	六
愛	紀	行		大沼	七
もう	一杯	いかがです		大橋	六
露草	の花	が咲いている		大前	六
しの	ぶ	坂		大森	六
こ	ころ	酒		大屋敷	六
沙	羅	双		おかべ	六
		樹		小川	六
平成	獅子	吼ぶ		おきの	六
怪	力	土		舟人	六
		俵		比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	七
				大澤	六
				大沼	七
				大橋	六
				大前	六
				大森	六
				大屋敷	六
				おかべ	六
				小川	六
				おきの	六
				舟人	六
				比富美	六
				しづこ	六
				正見	六
				裕子	六
				富士子	六
				哲郎	六
				里榮	七
				陽央	六
				二子	七
				孝一	七
				常治	三
				美代	三
				正次	七
				善士	七
				夕焼	六
				たけし	六
				上野	六
				碓氷	六
				内田	七
				宇都木	七
				宇都宮	三
				浦田	三
				海老澤	七
				大崎	

瀬戸の祝島……………	奥村和弘……………	〇五
三吉しぐれ……………	おだみさを……………	〇六
愛しいよ逢いたいよ……………	落合秀男……………	〇七
鳴くな鴉よ……………	鬼塚正憲……………	〇八
雪が炎えている……………	小野都久……………	〇九
三日月恋唄……………	小野津加佐……………	一〇
みつめないでノ……………	おもてやちよ……………	一一
男の夢は幻か……………	小山良……………	一二
恋形身……………	甲斐新……………	一三
ねえーあなた……………	かつまよしえ……………	一四
北ぐにのスケッチ……………	かとうえつろう……………	一五
陶人形……………	加藤完二……………	一六
母の鏡……………	加藤テル……………	一七
待たせて下さいもう少し……………	叶命恵……………	一八
飛驒川旅愁……………	神作光志……………	一九
智恵子哀歌……………	かめいしきみこ……………	二〇
ふるさと・外郎だより……………	河島渉……………	二一
人生舞台……………	河原忠一……………	二二
道頓堀あかり……………	川端はじめ……………	二三
平成宝船……………	川部進……………	二四
ひとり暮らしをしています……………	喜多條忠……………	二五
女の上州情話……………	北田幸子……………	二六
伊達藩の女……………	木立雄幸……………	二七
なみだ横丁……………	北野彩……………	二八

つゆくさの恋	北原	いずみ	二〇九
女の心火	木村	賢司	二一〇
城ヶ島ブルース	木村	杜吉	二一一
もしも小春が駒さしならば	木村	幹枝	二一二
にしん番屋	木村	幸男	二一三
祭り柝頭	國井	ただし	二一四
影法師	倉島	雅三	二一五
ながれ恋情	黒川	良人	二一六
故里に迷いそう	小出	アキ	二一七
島原有情	こうの	しげお	二一八
土絆	河野	充伸	二一九
祖父の手紙は候文	古賀	一弘	二二〇
すれっからのララバイ	こさか	優	二二一
あなたの恋挽歌	越野	みゐる	二二三
寂しいくらいが丁度いい	小島	香澄	二二三
おふくろ慕情	小島	高志	二二四
わたしの指定席	後藤	孝吉	二二五
背中にバーカ	小西	道善	二二六
雲海	木庭	武	二二七
哀歌、水子地蔵	こばやし	克至	二二八
泣き砂	小林	金次郎	二二九
いか釣り挽歌	小林	たけし	二三〇
人情荒川線	近藤	しげる	二三三
湯の町こけし	斎藤	清吉	二三三

美しき祖国よ……………	坂口	三義……………	三三
どっすん・マイ・先生 ^{チイサキ} ……………	坂本	順一……………	三三
竜馬賛歌……………	桜井	詩恵……………	三五
ここに花ありて……………	桜井	康光……………	三五
若葉……………	桜井	諒……………	三七
高原の秋・宿・駅……………	桜本	繁……………	三六
生まれてはじめて……………	佐々木	哲夫……………	三六
夜は悪魔……………	佐々木	安伸……………	三八
夫婦百計……………	佐田	英介……………	三九
東京は寒い……………	佐藤	進……………	三九
万灯会……………	佐東	たどる……………	四〇
枯葉の宿あなたを偲ぶ……………	佐藤	としかず……………	四〇
古都に散る華……………	佐藤	英明……………	四一
紅い花……………	さとう	ひでを……………	四一
恩返し……………	佐藤	邦夫……………	四二
花摘み子守唄……………	佐藤	秀千代……………	四二
紙の舟……………	里村	龍一……………	四三
浮世絵草紙……………	佐野	しずか……………	四五
秋京都……………	佐野	昌一……………	四五
歩きつづける足とめて……………	猿丸	笑子……………	四五
哀恋花……………	椎名	英威子……………	五三
アキアカネ……………	志賀	大介……………	五三
そんな貴男に首ったけ……………	柴田	恒男……………	五五
幕末三舟男……………	柴田	よしかず……………	五五

秋の恋……………	芝山	和子……………	一五七
すってんてんの唄……………	志摩	勝也……………	一五八
ひとり宿……………	志摩	小五郎……………	一五九
嵯峨野路ひとり……………	志摩	よし子……………	一六〇
越後路恋女……………	下地	亜記子……………	一六一
夢織人……………	下野	登美子……………	一六二
遥かなる大地……………	寫	馨子……………	一六三
男酒……………	秀生	明……………	一六四
ふるさとの挽歌……………	新保	治平……………	一六五
花香水……………	眇田	榮一……………	一六六
新世紀……………	菅野	政義……………	一六七
そんな倅せ私は欲しいのよ……………	すず	たかし……………	一六八
夕張挽歌……………	鈴木	きよ……………	一六九
夢列車……………	鈴木	孝……………	一七〇
いで湯慕情……………	鈴木	昭一……………	一七一
鴨川慕情……………	鈴木	信子……………	一七二
ここがおいらの晴れ舞台……………	鈴木	信也……………	一七三
蛭袋……………	鈴木	みつぐ……………	一七四
おんな…ひとり……………	鈴木	れい子……………	一七五
中秋……………	須田	厚子……………	一七六
仲人権兵衛……………	須田	勝雄……………	一七七
失恋模様……………	須田	茂樹……………	一七八
峠道……………	関口	義明……………	一七九
やはり野におけ……………	関沢	新一……………	一八〇

水府旅情……………	関沢	ただしげ……………	二八二
これからもよろしく……………	相馬	詩彦……………	二八三
旅の途中で……………	たか	たかし……………	二八三
もう、いややノ……………	高木	洋子……………	二八四
猫……………	高田	エイ子……………	二八五
たそがれてDown Town……………	高田	れい子……………	二八六
雑草……………	高塚	和美……………	二八七
冬おんな……………	高野	礼子……………	二八八
三春恋譚……………	高橋	テツ子……………	二八九
「おかあさん」の思い出歌……………	高橋	一仁……………	二九〇
夫婦風雪記……………	高橋	ゆきを……………	二九一
帰っただいでおろロンよ……………	高畑	和之……………	二九二
尾道情話……………	高安	弘……………	二九三
上総の子守唄……………	多岐川	まさし……………	二九四
なごり雪……………	滝田	常晴……………	二九五
冬の火花……………	たくわん	……………	二九六
長崎・ラブストーリー……………	竹内	きよと……………	二九七
藤しぐれ……………	立川	加根……………	二九八
こころ……………	田中	衆兵……………	二九九
太平記……………	たなか	ゆきを……………	三〇〇
雪見鳥……………	谷	としお……………	三〇一
涙……………	たにはら	伸……………	三〇二
あなたいちぢの恋の花……………	田畑	しげき……………	三〇三
新宿うら通り……………	玉川	良一……………	三〇四

もみじ館・炎情……………	玉利	要……………	二〇五
胡蝶蘭……………	田村	和男……………	二〇六
かたすみの恋歌……………	田村	忠雄……………	二〇七
おやじの下駄……………	千葉	幸雄……………	二〇八
ソーラン慕情……………	塚谷	清一……………	二〇九
望郷鴉……………	津島	裕次……………	二一〇
和歌ノ浦慕情……………	対馬	慎一郎……………	二一一
女の祭り……………	土川	多恵子……………	二一二
今夜はめぐり逢い……………	土屋	正敬……………	二一三
恋街道……………	堤	三郎……………	二一四
泣いた奴……………	つるぎ	まさる……………	二一五
トンボ飛行機……………	戸枝	ひろし……………	二一六
永遠の誓い……………	戸田	富久子……………	二一七
おとこ花……………	轟	大地……………	二一八
姉さんよ……………	外松	たつお……………	二一九
鉦山の挽歌……………	鳥羽	貞子……………	二二〇
女の灯り……………	豊原	史丈……………	二二一
羽衣のバラード……………	中川	肇……………	二二三
一分間だけよ……………	長島	ゆたか……………	二三三
お吉さんげ……………	中野	惣太郎……………	二三四
名残雪……………	中村	弘……………	二三五
魅情憐……………	中村	よしあき……………	二三六
抒情死……………	中村	よしかず……………	二三七
流転山頭火……………	中山	邦雄……………	二三八

忘れ	水	中山	大三郎	三九
道祖神		那須野	巖	三〇
地に堕ちたブレイ・ボーイ		並木	ひでを	三一
祈り歌・ぼっくり観世音		成瀬	左千夫	三三
平成おんな唄		仁井谷	俊也	三三
鎌倉ラストレター		賛田	清	三四
一夜城哀歌		西	晶三	三五
浪花の蝶々		西	順子	三六
私のお嫁に		貫井	昭五	三七
風の山頭火		沼川	淳	三八
まよひ舟		根岸	利仁	三九
雨のみちのく巡りあい		根本	昌幸	四〇
あゝる日		能勢	英男	四一
轍		野村	耕三	四二
かっぱ人生		橋間	哲也	四三
居酒屋「田舎」		長谷川	洋	四四
ハネムーン鹿児島			清美	四五
男と女のままごと遊び		はち	惣平	四六
命の旅路		花木	みつる	四七
翔んでけ節		英	玲二	四八
にくいひと		浜	一朗	四九
スナック小唄		浜	晃一	五〇
別れのヨコハマ・ラブ		林	徹	五一
柳川旅情		原	あきら	五二

螢火演歌……………	原	こうじ……………	二五三
民謡峠……………	伴在	主計……………	二五五
男の情火……………	樋口	栄己……………	二五五
恋情、お初……………	平井	健……………	二五八
水たまり……………	平川	せいぎ……………	二五七
三つ極の花……………	広谷	美和……………	二五八
無人駅……………	広野	アイ子……………	二五九
私の港……………	福沢	てつや……………	二六〇
國道……………	ふくだ	恒……………	二六一
男の夢を……………	藤	まさる……………	二六三
忘れ風鈴……………	藤枝	省一……………	二六三
雪むかえ……………	藤間	哲郎……………	二六四
大正ロマン・ひたすらに夢二さま……………	二木	葉子……………	二六五
忍び雨……………	舟根	久夫……………	二六六
女の手酌酒……………	古野	哲也……………	二六七
湯島恋しぐれ……………	ぼく	はじめ……………	二六八
みちのく冬ものがたり……………	星合	節子……………	二六九
ヤン衆ジャコ万……………	星川	成一……………	二七〇
みの虫の歌……………	星野	哲郎……………	二七一
恋の枯葉……………	細川	ふみ子……………	二七二
玄海魂……………	はたる	翔……………	二七三
酒ありて・能登……………	堀	五郎……………	二七四
赤い糸……………	堀尾	恭子……………	二七五
津屋崎情話……………	本間	繁義……………	二七六

女の哀しい旅路	峰	よしを	三〇一
花火師一代	峰崎	林二郎	三〇三
みちゆき北陸路	みや	秀和	三〇三
娘な	宮内	たけし	三〇四
演歌大将	三宅	立美	三〇五
海と爺さま	宮崎	てるみ	三〇六
玉の井の女	みやざき	あきら	三〇七
娑婆しゃば	宮原	哲夫	三〇八
恋地獄	武藤	実	三〇九
秋なごり	村上	文恵	三〇〇
春おんな	紫野	ゆき	三〇一
しゃんぷう・えれじい	室井	隆	三〇二
劇団仲間 "だいじょうぶ" より	森	林檎	三〇三
ハモニカの詩	森岡	司	三〇四
おわら恋情話	森田	えい美	三〇五
モジリアーニの絵の前で	守田	英雄	三〇六
骨	杜	としを	三〇七
はだか祭	八木	吾郎	三〇八
六年ぶりの栄町	矢坂	秀司	三〇九
修羅の花	安田	福美	三〇〇
末無川	やま	一央	三〇一
帰らない	山上	路夫	三〇三
未完成詩集	山北	由希夫	三〇三
愛の戯言	山口	純	三〇四

札幌さらさら雪の街	山崎	有道	三三五
お前のお蔭	山路	功	三三六
彼岸花	山田	孝雄	三三七
信濃路未練	山田	信夫	三三八
戻り橋	山田	博康	三三九
夫婦阿吽	やまだ	りゆう	三三〇
チンドン人生名残り唄	山中	雅美	三三一
酔奴隷	山本	恵三子	三三二
雑魚の唄	山元	ひろし	三三三
印象派	湯浅	操子	三三四
人生春夏秋冬	結城	和也	三三五
夫婦左馬	友里	裕介	三三六
理由のない別れ	横井	弘	三三七
赤城のこころ色	横山	計江	三三八
さよなら三角	吉岡	治	三三九
星列車	吉岡	広己	三四〇
還暦	吉川	徳子	三四一
大地の雑草	吉川	満	三四三
戦友よ	吉田	旺	三四三
恋色紙	吉田	純治	三四四
浪花米ぶし	吉田	よし子	三四五
ひとひらの雪	吉本	歌世	三四六
恋蛍	淀川	詩朗	三四七
ピリオド	若林	圭子	三四八

J O K E R を抽いた男	若林澄人	三〇九
夢しぐれ	渡辺和於	三〇〇
潮騒	渡辺螢雪	三〇一

題字 石本美由起
 表紙画 斎藤茂

(二陽会会員)